

かわさき

川崎子どもニュース

編集 川崎教育文化研究所
発行 (一財)川崎教職員会館
川崎市中原区下沼部 1709-4
TEL : 044-433-9100



子どもニュースでは「子どもの権利条例」や「子ども会議」についてお知らせしていくよ!



みんなで力を合わせて学校や川崎市をもっとよくしよう!

今から22年前の2001年、日本初の「子どもの権利に関する条例」(以下「子どもの権利条例」)は川崎市で作られました。条例は「子どもたちは生き生きと、ありのままの自分でいられ、幸せに暮らすことができる」と定めています。子どもたちは愛され、守られ、応援してもらえる、と約束されているのです。

条例をもとに、「川崎市子ども会議」が開かれ、子ども委員が活動しています。川崎子どもニュースでは、1年を通じて子ども会議のとりくみを紹介していきます。

川崎市子ども会議のとりくみを市長に報告しました!

川崎市子ども会議は、川崎を子どもたちにとって住みやすく、素敵なまちにするために、テーマを決めて話し合ったり、調査や見学に出かけたりしています。月に2回、高津区にある「子ども夢パーク」で定例会議をしています。1年間かけてまとめた意見を、3月に福田市長に報告しました。



会議室の窓から新しい市庁舎がみえたよ



川崎市と市内7区の子どもの会議は、一緒に活動してくれるメンバー大募集!

申し込みや問い合わせは事務局へ。

教育委員会地域教育推進課・川崎市子ども会議事務局

TEL : 044-200-3565

FAX : 044-200-3950

川崎市子ども会議のページへ



川崎市子ども会議申し込みのページへ



かわさきしこ かいぎ ～川崎市子ども会議って、どんなことをしているの?～

かわさきしこ かいぎ 川崎市子ども会議とは・・・

子どもの権利条例、第4章 子どもの参加 第30条に子ども会議について定められています。子ども会議は、子どもが自由に意見を言うことができ、その意見を自分たちでまとめていく会議です。この会議でまとめられた意見をいろいろな所に伝えに行きます。市長も、その意見を大切にしています。

「子どもの権利条例」は子どもたちの意見が反映された条例です。



さくねんど かつどう 昨年度の活動

昨年度は3つのグループに分かれて、「Eduvari」が「学校のイメージ」、「Eco」が「給食の残食問題」、「Kawappy」が「川崎市の魅力発信」についてとりくみました。また、「子どもの権利条約フォーラム2022in那覇/沖縄」に参加し、子どもの権利について意見交換をしました。他にも「カワサキ☆U-18」に参加し、市長や川崎市内の子どもたちとGIGAスクールなどのテーマについて話し合いました。

こんねんど かつどう 今年度の活動



今年度から新しく参加したメンバーを迎え、和やかで活発な子ども会議を開催しています。どのようなテーマについて調べていくのかを、自分たちの生活のなかで身近なギモンや課題を出し合っって話し合いを進めています。6月18日には「川子会体験デー」を行いました。アイスブレイクのレクリエーションや自己紹介のあと、子ども会議がどんなものなのか、実際に話し合い活動を体験してもらいました。参加者からは「話し合いが楽しかった!」「また来たい」といった声が聞かれました。夏休みには数年ぶりの開催となる、宿泊施設に泊まりがけでの合宿を企画しています。楽しさいっぱい、笑顔いっぱいの川崎市子ども会議は今年も全力でがんばります!



ぎょうせいこ かいぎ かつどう 行政区子ども会議の活動

川崎市には、川崎区から麻生区までの7区にも、それぞれ子ども会議があります。昨年度は話し合い活動の他、サマーキャンプ、市民館ジャック、青空子ども会議、区長報告会など様々な活動を行いました。今年度はコロナ禍も落ち着きを取り戻してきた中、さらに活発な活動が再開されてきています。

